

令和4年度指導計画 (社会)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	社会(公民分野)	総時数	140時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	帝国書院『中学生の公民(よりよい社会を目指して)』				
副教材等	正進社『公民の資料』 学友社『オールマイティ アクティブ社会中3(歴史Ⅲ・公民)』				

1 学習目標

1. 個人の尊厳と人権尊重の意義を正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
2. 現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
3. 国際化が進むなかで、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。

2 指導の重点

- ①地理的分野、歴史的分野との関連を図りながら、基本的な知識を身に付けさせる。
- ②具体的な事例について自分の意見をまとめさせたりすることにより、思考力、判断力、表現力を養う。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1部 現代社会	第1章 現代社会と文化 第2章 現代社会をとらえる枠組み	さまざまな変化に直面している現代社会の特色や、そのなかでも伝統や文化を受け継ぎ、発展させることの大切さを理解させる。	12	評価シート 提出物
5	第2部 政治	第1章 日本国憲法	民主主義の理念が基盤になっている日本国憲法や基本的人権、民主主義や法の支配など理解させ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、資質・能力を身に付けさせる。	30	評価シート 定期考査 提出物
6					
7		第2章 民主政治	民主政治を発展させるため、個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するため、選挙制度、政党、国会・内閣・裁判所、地方自治などに着目して、身近な社会の課題に取り組むことの大切さを実感させ、政治への意識を高められるようにする。	36	評価シート 定期考査 提出物
8					
9					
10	第3部 経済	第1章 市場経済 第2章 財政	市場経済や経済の三主体など経済単元の基礎となる概念を理解させ、消費者、企業、政府それぞれの視点から、日本経済や財政などの課題に向き合い、持続可能な社会の実現に積極的に参画する意識を養えるようにする。	36	評価シート 定期考査 提出物
11					
12					

1	第4部	第1章 国際社会	紛争や貧困、地球環境問題などの地球的課題の現状を理解したうえで、国際社会のよりよい発展に向けて、国際社会やNGO、そして人々に求められる取り組みを考えられるようにする。	20	評価シート 定期考査 提出物
2					
3		第2章 課題の探求	持続可能な社会を形成することに向けて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探求する活動を通して、資質・能力を身に付けさせる。	6	評価シート 小テスト 提出物

計 140 時間 (50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・教科書準拠プリント
- ・問題集
- ・評価シート

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
現代社会について見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連など理解し、その知識を身に付ける。	現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。	現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立ってよりよい社会を考え、公民としての自覚をもって責任を果たそうとしている。
以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 などから、総合的に評価します。		

#### 6 担当者からの一言

授業をしっかり聞くこと、教科書を読むことが学習の基本です。それから問題集を全部間違えずに解けるようになるまで練習しましょう。80点の合格を目指してがんばってください。

(担当：小原沢公啓)